

日本私立学校振興・共済事業団

災 害 状 況 明 細 書																			
① 加入者番号										② 加入者氏名			③ 被扶養者の有無		④ 被扶養者ありの場合は同居・別居の別				
県コード	学種	学校番号				個人番号													
1	3	A	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	私学 太郎			有 ・ 無		同居 ・ 別居	
住居の部	加入者の住居	⑤ ① 自 宅		⑥ 総 面 積		109.0		⑧ 家屋の時価		8,000,000 円									
		2 借 家		⑦ 被害面積		55.0		⑨ 家屋の損害額		3,000,000 円									
		3 借 間		⑩ 構 造		木 造		⑪ 形 態		平屋									
		4 その他 ()				鉄 骨				二階建									
	別居被扶養者の住居	⑫ ① 自 宅		⑬ 総 面 積				⑮ 家屋の時価		円									
		2 借 家		⑭ 被害面積				⑯ 家屋の損害額		円									
		3 借 間		⑰ 構 造		木 造		⑱ 形 態		平屋									
		4 その他 ()				鉄 骨				二階建									
	災害の原因	⑲ 災害の原因 令和〇〇年〇〇地震										⑳ 災害の状況 令和〇〇年7月28日発生地震により、 家屋にゆがみや亀裂が生じ、 家屋の半部分が損壊した。							
		加入者の住居平面図	㉑ (各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)																
別居被扶養者の住居平面図	㉒ (各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)																		

風呂・WC・LDKは基礎部分が壊れ、損壊した。 階段は亀裂により、崩れ落ちた。

壁に亀裂が入り、一部が崩れている。

住所 〒

被扶養者の氏名

加入者との続柄

共済運営規則様式第十四号（第二十一条・第二十三条関係）

		(23) 品 名	(24) 総数量	(25) 時 価	(26) 被害数量	(27) 損 害 額	(28) 備考(全焼・半焼・補修等の説明)
				円		円	
家 財 の 部	応接セット	1	200,000	1	200,000	破損(修理不能)	
	エアコン	5	550,000	1	200,000	破損(修理不能)	
	タンス	3	300,000	1	100,000	破損(修理不能)	
	洋服	100	1,000,000	25	250,000	破損(修理不能)	
	机	3	150,000	1	50,000	破損(修理不能)	
	テレビ	3	500,000	1	200,000	破損(修理不能)	
	ビデオ	2	160,000	1	80,000	破損(修理不能)	
	サイドボード	1	120,000	1	120,000	破損(修理不能)	
	洗濯機	1	150,000	1	150,000	破損(修理不能)	
	パソコン	1	100,000	1	100,000	破損(修理不能)	
	掃除機	1	50,000	1	50,000	破損(修理不能)	
	冷蔵庫	1	100,000	0	0	破損(修理可能)	
	電子レンジ	1	50,000	0	0	損害なし	
	寝具	3	75,000	0	0	損害なし	
	靴	20	200,000	0	0	損害なし	
	ベッド	2	250,000	0	0	損害なし	
	本棚	2	125,000	0	0	損害なし	
	本	100	190,000	0	0	損害なし	
	食器棚	1	150,000	0	0	損害なし	
	食器一式		80,000	0	0	損害なし	
台所用品一式		100,000	0	0	損害なし		
計		(29)	4,600,000	円	(30)	1,500,000	円
浸 水 状 況	床 上 浸 水	土砂流入の程度		床上浸水期間		最高水位を示した日	
	cm	cm		日間 時間		4 平 5 令	年 月 日
上記のとおり事実と相違ないことを報告します。 (32)							
(31) 令和 〇〇 年 9 月 23 日 (フリガナ) シガ タロウ 加入者氏名 私学 太郎							
上記の報告は、事実と相違ないものと認めます。 (34)							
(33) 令和 〇〇 年 9 月 23 日 学校法人等名 学校法人 湯島大学							
(35) 代 表 者 名 理事長 湯島一郎							

記入上の注意

- 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。
- 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。
- 家財は損害をうけなかったものもすべて記入してください。
- 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と共用している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。